

会議結果報告書

- 1 会議の名称
平成26年度第1回光市立図書館協議会会議
- 2 開催日時
平成26年7月8日(火) 13時30分～15時20分
- 3 開催場所
光市立図書館2階視聴覚室
- 4 出席者 12名(光市立図書館協議会委員8名(全員)、事務局4名)
- 5 公開・非公開の別
公開
- 6 会議の議事録(要旨)
 - (1) 任命書交付
 - (2) 教育長挨拶
 - (3) 出席委員及び事務局職員紹介
 - (4) 会議成立状況の報告及び承認
 - (5) 会長・副会長選出
委員の互選によりそれぞれ選出
 - (6) 議事
 - ア 平成25年度事業報告
(事務局)
「平成25年度光市立図書館運営事業実績報告書」、「平成25年度光市立図書館行事別参加者状況一覧表」及び「パスファインダー関係資料」に基づき特徴的な取組みを説明。
(委員)
 - ・図書購入費等の推移については、可能であれば前年度対比ができるとうい。
 - ・以前提案した分類別貸出点数が掲載されているので、参考になる。可能なら児童書の文学のうち小説とそれ以外が分かるとなお良い。年齢別貸出点数が掲載されているが、男女別が分かる対策がよりとりやすいのではないか。また、小・中・高校生別に分類できれば中・高生の読書離れが進んでいる状況を把握

し、対策を考えることができる。一方、60歳代からは一般的に男性利用者が増加する傾向にあるため、中高年層の来館者を増加させるためには、予算的なものがあるので難しいかも知れないが、雑誌の種類を他館並みのせめて100誌程度に増やす必要があると思う。

- ・「貸出便益（税金の還元）」の総額だけでなく、更にこれを人口で割り戻し1人当たりの還元額を出しておくほうが一層わかりやすいと思う。
- ・図書館から全ての留守家庭児童教室に毎月配本を始められたことにより、1年生から3年生の児童が直接本を手にとって読める機会が増え、子どもの読書活動の推進に大いに貢献していると思う。
- ・現代は、電子機器が普及し電子辞書や電子図書、インターネットなどの利用が定着してきて必要なことだけ時間を短縮して調べることができるようになったことから、活字離れもやむをえないのではないか。
- ・本校の生徒の学校図書館の利用率は高いと思っている。図書指導員も週2回来ているし、推薦図書もよく読まれているようだ。読書の時間も取っているのでたくさん読んでいると思う。ただ、内容については文学小説ではなく携帯小説をよく読んでいるようなのでそれが少し気になっている。無料携帯小説や電子書籍も一つの読書の形態であり、うまく利用することで読書の推進に一役買うのではないか。
- ・スマートフォンやタブレットの利用が進んできていることは事実であるが、やはり来館して、本に触れ活字文化に親しんで欲しい。

イ 平成26年度事業の推進について

(事務局)

「平成26年度光市立図書館の主な取組み」、「平成26年度光市立図書館行事予定表」及び「夏休み期間中の行事のお知らせ（リーフレット）」に沿って説明。

(委員)

いろいろと活動的な行事がいっぱいという感じがしたが、ただ、乳幼児向けの取組は多いが、ヤングアダルト世代への取組が少ないのではないかと感じた。

(委員)

今後は子どもの読書活動推進庁内委員会と学校図書館指導員との連携が重要になると思う。因みに、先般、学校図書館法が一部改正された。およそ2校当たり司書1人の配置が地方交付税措置として150億円予算化されると聞いているので、今後の行方を注視すべきと考える。

(事務局)

図書指導員との相互理解のための研修については、今年は5月1日に行った。学

校巡回図書取扱事務については、これまでは学校長宛文書のみで済ませていたが、この研修の実施により、連携がうまく機能し、中学校からの利用も増えてきた。今後は、担当教諭の会議等があれば時間をいただき、図書館の活用について協力を求めるなど連携を図っていきたい。

(委員)

「大人のための文学講座」は良い企画であると思う。光市出身の作家などは招聘できないのか。

(事務局)

昨年開催したこの講座が大変好評であったことから、本年も何か成人向けの講座を行いたいと考え、本年度はやまぐち文学回廊構想推進協議会が主催する「やまぐちの文学お出かけ講座」の活用をすることとした。

ウ 各委員からの提案事項等について

(委員)

分室の建て替えについてどのような計画が進んでいるのか。可能であれば、この際に分室ではなく格上げをして光市立大和図書館（地域図書館）として再スタートできればいいと考えているが、どのような計画となっているのか。

(事務局)

本年3月に策定された岩田駅周辺都市施設整備基本計画において、図書館大和分室は、大和支所と大和公民館を集約した複合型施設として、本年度から来年度にかけて基本計画と基本設計が、翌平成28年度には実施設計が行われ、さらに平成29年度から30年度にかけて建設工事が行われる予定となっている。

(委員)

複合型施設であるのなら、生涯学習プラザのような形態をとって建設してその中に図書館も位置付ける新しいスタイルがよいと思う。子どもたちにも大いに利用されて、大和に住みたいな、大和に帰ったら勉強できるな、じゃあ本もしっかり読もうという具合になるのではないかと思う。特に大和地区には子どもたちが学習できるような空調設備も整った施設が少なすぎるのではないかと感じている。そういう意味において新しい発想、システムが必要ではないか。

(委員)

10数年来図書購入費の予算はほぼ据え置かれているように思う。本来は分室分も含め予算をもっと増やすべきではないかと感じる。分室をリニューアルする機会にあわせて、大和分室の構想を練り準備し、しっかり予算も確保して行って欲しい。

(委員)

雑誌を増やしてほしい。また、文庫本の蔵書数をもっと増やしたらどうかと思う。

文庫本は、中高生もカバンに入れ気軽に持ち運びができ便利であるし、簡易カバーをかけてちょっとした空き時間や、公共交通機関で通勤するサラリーマンも手軽に読めると思う。

リサイクル図書コーナーが常設されていると気軽に利用できるのではないかと思う。以前住んでいたところの市立図書館では入り口の隣にちょっとしたコーナーがあり、気に入った本を持ち帰ったりして、多くの方が利用されていたように感じていた。

ヤングアダルト層の読書を推進するためには、ホームページにYAコーナーが設けられスマホ対応になればよいのではないかと思う。入口までの案内が重要であるのでできるだけ対応するとよい。

(委員)

ブックモバイルの導入についてはかねて他の委員からご意見をいただいているところであるが、公民館図書の管理について、各公民館の実態を把握して改善すべき点がないか検討して欲しい。

(委員)

相互貸借制度の利用については、知らない方も多と思われるので、年2回ぐらいは市の広報に掲載してみたらどうか。

(7) その他

(事務局)

平成26年度第2回光市立図書館協議会は、平成27年2月に開催(予定)したい。

7 問合せ先

光市立図書館 電話番号 0833-72-1440